

さいたまここに人あり

地域にねざし、

たくさんをつながりで



山田智之さん

組合活動が 私の原点

私は越谷で生まれ、育って、教師生活も越谷でした。2年目から越谷教職員組合役員になり、越谷地区労の組合役員にもなっていましたので、たくさんの人とのつながりができました。組合活動の中で私という人間がつけられたと確信しています。組合がなかったら教師として成長できなかったと思います。36年間の越谷での教師活動、このなかでいろいろな人に学んで、いまの運動につながっています。埼教組、越教組があったからいまの私があります。

退職してから11年になりますが、現在は越労連議長（越谷吉川松伏労働組合連

合会）の活動が中心です。越労連には越谷市教職員組合の委員長をしていたときから参加していますので、22年目になります。また、1人でも加入できる労働組合「越谷地域労組げやき」の書記長も兼ねています。これを足掛かりにあつちこつち顔を出しています。

「げやき」は1人、2人で相談に来るのが9割以上。職場でまとまって来るケースは数件しかありません。大半は個人での相談です。みなさんは大変な中で相談にみえます。外国人労働者の相談も何人かありました。外国人の場合はなかなか納得しない人が多く、もの別れで終わ

プロフィール 1996年から越谷市教組委員長、越労連議長を歴任。越谷親子映画代表。名画をみる会、オール越谷市民アクション、九条の会の各事務局長。自治会の副会長も15年やっています。

ってしまいます。解決が難しい場合が多いです。

オール越谷市民ア クシヨンの誕生

越谷は以前から民進党の議員、市民ネット、保守無所属の人、日本共産党などでの共同の行動がおこなわれていて、他地域より幅広い活動がおこなわれていました。

1997年の市長選挙で板川文夫さんを野党統一候補で応援しました。それまでは、民主党と共産党の共闘はあまりありませんでしたが、市長選挙で「民主市政の会」を立ち上げて板川さんを候補に決めました。

越谷は元は革新市政でしたが、1980年の「社公合意」で断ち切れられ、80年代から90年代は保守市政が続きました。板川さんを野党統一で推薦し、革新市政をとり戻したのです。このときの活動のなかで、地区労、自治労市職組、民主党、共産党とのつながりができました。教育基本法改悪のときに、越労連、越教組、

日教組越谷、地区労といっしょに地域集会を開きました。その後、メーデーを統一して開催し、これがオール越谷市民アクシヨンの誕生につながり、今日の活動に生かされています。

さまざまな活動の なかで

私は自分で興味があつたり、人から頼みごとをされるとやってしまう性分なんです。

教職員組合の運動をしていて、最初にはじめたのが親子映画です。いまでも続いています。映文協とのつながりのなかで、「秩父事件・草の乱」や、憲法の映画など、たくさんの映画も上映しました。前進座の小林多喜二「母」の芝居の上演運動にも携わりました。いまは名画の会を立ち上げ、上映活動をすすめています。原発問題では、「さよなら原発越谷連絡会」に参加していますが、この会は越谷地区労の議長（当時）が中心になっています。会は反原発の市民集会を毎年3月に開催するほか、毎月第3金曜日に越谷

駅西口駅東口前広場で集会・デモを行っています。毎回40人〜50人の参加があります。こういう公共の場所でおこなえるのも市民と政党の共闘からうまれた市政のおかげだと言えます。

原発問題の中心を担っている越谷地区労議長は9条の会の事務局長もしています。越谷では地区労と越谷労連は長い断絶がありましたが、石山さん（元地区労議長）の時代から一緒に行動するようになりました。そして、市民ネット、生活クラブ、民進党の人たちとも共同するようになりました。

私は自分がやるべきことを一生懸命にやればよいと思っているので、まわりの評価がどうかなどは気にしない性分です。しかし、残念ながら広がりがありません。これは認めざるを得ません。一時期、文教大学の教員の人とはつながりができ、9条の会が大学の学園祭でコーヒー屋さんとお客を願う大声コンテストという企画をおこないました。5年間続きました。しかし、学生とのつながりはできませんでしたが、チラシの受け取りはよくありませんでした。1人〜2人位は企画に参加してくれましたが、つながりがなく

なってきたています。大学の職員組合を訪ねたりしましたが、現在は会えずにいます。市内には県立大学もあります。つながらをつくれていません。先生たちとも然りです。

オール越谷のこれから

オール越谷市民アクションは2〜3カ月に1回、学習会かシンポジウムを開催しています。現在は3月10日のシンポを準備しています。

このシンポは、自称保守系無所属と名乗り、民進党とつながりが強い人が会を引っ張ってくれていて、この人の人脈はすごく、シンポを継続するうえで多大な役割を果たしてもらっています。立憲民主党、日本共産党のほか、希望の党の小川淳也さん（香川1区）や、ママの会@埼玉やフイフクロの市民がパネラーになります。中身の濃いシンポにしていきたいと思っています。

シンポは「立憲民主主義で語る暮らしと政治」のテーマでいままでも4回おこな

われ、5回目の今回は「野党共闘のこれからと市民参加」です。オール越谷市民アクションは、くらしの問題にとりくんできたこともあり、今回の衆議院議員選挙では、立憲民主党の山川ゆり子さんを推薦しました。今後もシンポと集会の2本立てを大きくしていきたいと思っています。

3000万署名のとりくみ

戦争法（安全保障関連法）反対の署名活動のときは越労連と共同センターでとりくんで3万数千筆集めました。今回の「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」（3000万署名）は越谷土建だけです。1万5000以上集め、越谷全体で1万8000筆です。今回は生活クラブ、市民ネット、越谷市職などいっしょに旺盛にすすめたいと思っています。オール越谷では、2月17日に越谷駅前で集会と署名活動にとりくみます。

自治労組合員であった民進党系無所属の市会議員の方とも今回つながりができ

ました。この市議員を通じて市職の人たちに署名活動を呼びかけてもらいたいと思っています。12月2日、3日におこなわれた越谷市産業フェスタの会場で署名活動をおこなったところ、1時間で89筆の署名が集まりました。私と市民クラブの人の2人だけでおこなったのに、すごい反響でした。

戦争法の署名のときは元荒川の桜花見の場所で200筆以上の協力を得ました。駅前宣伝だけではなかなか集まりません。市のイベントなどのたくさんの方が集まるところに出かけていって署名を集めていくことをしないと3000万署名を達成できないと思います。

越谷9条の会が、1月27日の市の協働フェスタに「9円コーヒー店」と「平和を叫ぶ大声コンテスト」で参加します。その場でもたくさんさんの署名を集める予定です。

働く親たちの思いを

退職して11年になりますが、毎週越教

組執行委員会に夕食をつくり続けています。私の原点となる越教組になにか役に立ちたい思いからです。とてもよるこんでくれてうれしいです。労働組合活動でも夕食づくりでもそうですが、1つのことを続けられるのは教師をやって、組合活動をやってきたおかげです。

いまの先生たちへのメッセージは2つあります。1つは、学校のなかで校長、教頭、教育委員の言ったことだけ受けとめているのではだめだと思います。働いている子どもたちの親がどう思っているかを常に考えていくことが大切なことです。2つめは世界がどうなっているのかを念頭に置いていくことです。この2つが子どもたちに対応したり、実践したりすることの基本だと思います。

学校の先生は労働者の中で最も多忙になつていられると言われますが、もつと忙しく、大変な中で働いている人もたくさんいます。先生だけが長時間、多忙な中で働いていると考え、思っていると、他の企業の労働者と団結できません。先生は忙しいですが、一般国民からは、「そうは言っても、先生は夏休み、冬休みがあるからね」と思われていることも事実です。

「心の重心」を 子どもに

越教組は、労安法の実現や、長時間解消に全力でとりくみながら、労働者全体の過労死問題にもとりくんでいて立派です。どんなに忙しくても、新聞を読んだりはしてください。ときどきの集会に参加することはとても大切です。働く親たち、原発被災者、沖縄、そしてシリアやパレスチナ難民の人たちのことも思い、ときに、子どもたちに少しでも話してください。

自分は子どもに寄り添っているか。不登校の子や昼休みに1人ぼっちになっている子などをいつもいちばんに気にかけて、そういう子をクラスのみんなで支えようと努力していったほしい。私は生徒を甘やかすと言われてきました。例えば、問題のある子がいても、あの子はああいう弱点を持っているんだからわかかってやれよとか、茶髪で少年院あがりの転校生が問題起こしても、その子が違う育ち方をしてきたんだとまわりの子が学べば、



その子をまねる生徒は生まれません。甘やかすのではなく、その子の育った環境で子どもをみて実践していけば、クラスはいい方向にまとまると思っています。こういう実践をしてきました。子どもたちは信用できる存在です。正義感をもって友情を訴えれば、必ず子どもたちの心をとらえることができます。教育は本当に大切にやりがいのある仕事です。がんばってください。